

救急医学講座 (高度救命救急センターを含む)

著 書

- 1 阪本雄一郎：救急医療におけるチーム医療. 純真学園大学雑誌 第4号, p. 1-7, 純真学園大学. 2014.
- 2 阪本雄一郎：一酸化炭素中毒. 今日の治療指針 第7版, p. 1462-1463, 医学書院. 2014.
- 3 阪本雄一郎：敗血症治療における血液製剤の可能性. 臨牀と研究 92, (3), 372-378, 大同学館出版部. 2015.
- 4 阪本雄一郎：2020年に向けた敗血症治療戦略における抗凝固療法の展望. 救急医療達人に学ぶ！ Vol. 3 特濃…救急診療・集中治療から災害医学までの最新知識, p71-84, 真興交易(株)医書出版部. 2015.
- 5 阪本雄一郎：重症敗血症に続発する凝固・線溶系障害の病態とアセスメント～診断基準も治療薬も整理すればわかりやすい～. 重症患者ケア Vol. 4, No. 4, 2015 重症敗血症ケア実践ガイド p. 697-706, 総合医学社. 2015.
- 6 永嶋 太, 阪本雄一郎：【Acute care surgery を学ぶ】重症肝損傷に対する acute care surgery (解説/特集). 外科 77, (11), 1245-1250, 南江堂. 2015.
- 7 永嶋 太, 阪本雄一郎：ダメージコントロールと deadly triad. 外傷外科手術パーフェクト 重症患者救命のためのベストアプローチ. 診断と治療社. 2015.
- 8 小網博之, 阪本雄一郎：外傷性 DIC の診断と治療のポイントとは？. Thrombosis Medicine 第5巻, 3号, p79-84, 先端医学社. 2015.
- 9 今長谷尚史, 阪本雄一郎, 川路明人, 小山富士雄, 中田邦臣, 野村真弓, 三谷 洋：ER M&M conference (第6回) 精神科病院との連携 その患者, 本当に精神科でいいのですか？ (解説). 救急医学 39, (3), 378-387, へるす出版. 2015.
- 10 今長谷尚史, 阪本雄一郎, 川路明人, 小山富士雄, 中田邦臣, 野村真弓, 三谷 洋：ER M&M conference (第7回) 精神科病院との連携 精神科病院で心肺停止になったら (解説). 救急医学 39, (4), 485-495, へるす出版. 2015.
- 11 今長谷尚史, 阪本雄一郎, 川路明人, 小山富士雄, 中田邦臣, 野村真弓, 三谷 洋：ER M&M conference (第8回) 研修医教育 かかりつけ医は, どこまで患者の病態を予見できるのか？ 救急外来で気管挿管後, 循環器内科で入院になったら… (解説). 救急医学 39, (6), 733-744, へるす出版. 2015.
- 12 今長谷尚史, 阪本雄一郎, 川路明人, 小山富士雄, 中田邦臣, 野村真弓, 三谷 洋：ER M&M conference (第9回) 研修医教育 薬剤の用法・用量は？ 致命的なミスカバーするためのシステムづくり ルーチンを決めると思考低下する？ (解説). 救急医学 39, (8), 993-1005, へるす出版. 2015.

原著論文

- 1 Koami H, Sakamoto Y, Ohta M, Goto A, Narumi S, Imahase H, Yahata M, Miike T, Iwamura T, Yamada KC, Inoue S: Can rotational thromboelastometry predict septic disseminated intravascular coagulation?. Blood Coagul Fibrinolysis 2015 Oct; 26(7): 778-83, 2015.

- 2 Yamada KC, Inoue S, Sakamoto Y.: An effective support system of emergency medical services with tablet computers. *JMIR Mhealth Uhealth* 2015 Feb 27; 3(1), 2015.
- 3 Koami H, Isa T, Ishimine T, Kameyama S, Matsumura T, Yamada KC, Sakamoto Y.: Risk factors for bowel necrosis in patients with hepatic portal venous gas. *Surg Today* (2015) 45: 156-161, 2015.
- 4 小網博之, 阪本雄一郎, 朽木規喜, Rattaplee Pakart : Human Soft Cadavers を用いた外傷ワークショップに参加して. *日本外傷学会雑誌* 第29巻, 1号, p. 17-21. 2015.
- 5 八幡真由子, 太田美穂, 後藤明子, 鳴海翔悟, 今長谷尚史, 三池 徹, 小網博之, 藤田 亮, 永嶋太, 岩村高志, 山田クリス孝介, 井上 聡, 阪本雄一郎: エンドトキシム吸着療法と遺伝子組み換えヒトロンボモジュリン製剤併用による効果の検討. *日本急性血液浄化学会雑誌* 第6巻, 2号, p. 119-123, 2015.
- 6 Patil R, Ljubimov AV, Gangalum PR, Ding H, Portilla-Arias J, Wagner S, Inoue S, Konda B, Rekechenetskiy A, Chesnokova A, Markman JL, Ljubimov VA, Li D, Prasad RS, Black KL, Holler E, Ljubimova JY.: MRI virtual biopsy and treatment of brain metastatic tumors with targeted nanobioconjugates: nanoclinic in the brain. *ACS Nano* 2015 May 26; 9(5): 5594-608, 2015.
- 7 Patil R, Gangalum PR, Wagner S, Portilla-Arias J, Ding H, Rekechenetskiy A, Konda B, Inoue S, Black KL, Ljubimova JY, Holler E.: Curcumin Targeted, Polymalic Acid-Based MRI Contrast Agent for the Detection of A β Plaques in Alzheimer's Disease. *Macromol Biosci* 2015 Jun 2. doi: 10.1002/mabi.201500062, 2015.
- 8 *渡辺健太郎, 藤満幸子, 原田由美子, 山田クリス孝介, 須永剛司, 小早川真衣子, 新野佑樹, 阪本雄一郎, 西村拓一, 本村陽一: 看護現場における業務経験の表現・共有支援システムの開発. *情報処理学会論文誌* 56, (1), 137-147, 2015.

総 説

- 1 *中村菜々子, 井澤修平, 山田クリス孝介: ストレス・マネジメント行動の阻害要因. *日本行動医学会誌* Vol. 21, No. 2, p69-75, 2015.

症例報告

- 1 小網博之, 阪本雄一郎, 今長谷尚史, 八幡真由子, 三池徹, 岩村高志, 井上聡: 遅発性呼吸停止を来したグルホシネート中毒の1例. *日本救急医学会雑誌* Vol26 Issue1 p30-35, 2015.

学会発表

国際規模の学会

- 1 Koami H, Sakamoto Y, Inoue S: What factor within JAAM DIC criteria is most strongly correlated with trauma induced DIC on the subject of ROTEM findings?. 9th Annual Singapore Trauma Conference 2015. 2015, 4, 18-19.
- 2 Koami H, Sakamoto Y, Inoue S: The rotational thromboelastometry (ROTEM) is an accurate measure to diagnose trauma induced disseminated intravascular coagulation. 16th European Congress of Trauma & Emergency Surgery. 2015, 5, 10-12.
- 3 Yamada K, Fujimitsu S, Harada Y, Watanabe K, Sunaga T, Kobayakawa M, Sakamoto Y, Nishimura T: A co-design project for a nursing information system. 19th Triennial Congress of the International Ergonomics Association (IEA). 2015, 8, 9-14. Proceedings 19th Triennial Congress of the IEA.
- 4 Koami H, Sakamoto Y, Noguchi R, Sato N, Miyasho T, Kai K, Inoue S: Impact of haptoglobin on the

association between inflammation and coagulation in a rat burn model. 74th Annual Meeting of the American Association for the Surgery of Trauma & Clinical Congress of Acute Care Surgery. 2015, 9, 9-12. 74th Annual Meeting of the American Association for the Surgery of Trauma & Clinical Congress of Acute Care Surgery p.297.

- 5 Yamada KC, Sone Y, Crews DE, Kusano Y, Aoyagi K, Maeda T, Iwamoto A: Association between Allostatic Load and Activities of Daily Living in Older Japanese. The 12th International Congress of Physiological Anthropology. 2015, 10, 27-30.
- 6 Koami H, Sakamoto Y, Inoue S: Hyperfibrinolysis in patients with out-of-hospital cardiac arrest may contribute to poor outcome. American Heart Association 2015. 2015, 11, 7-9.
- 7 Yamada K, Watanabe K, Hope T, Sunaga T, Kobayakawa M, Nishimura T, Sakamoto Y, Motomura Y: Co-design Project for a nursing information system at a University Hospital in Japan. HAT-MASH 2015 (Healthy Aging Tech mashup service, data and people) (as part of JSAI-isAI 2015, supported by Society for Serviceology). 2015, 11, 16-17.
- 8 Sakamoto Y: Keynote speech How to Set up the Dr-Heli System. Korean Association of Aero Emergency Medical Service. 2015, 12, 11. Korean Association of Aero Emergency Medical Service 2015 p 75-103.

国内全国規模の学会

- 1 小網博之, 阪本雄一郎: 血漿フィブリノゲン値と Thromboelastometry における FIBTEM は相関するのか?. 第42回日本集中治療医学会 (口演19 血液・凝固線溶). 2015, 2, 9-11.
- 2 岩村高志, 太田美穂, 後藤明子, 鳴海翔悟, 今長谷尚史, 八幡真由子, 三池 徹, 小網博之, 井上聡, 阪本雄一郎: 心停止蘇生後に発症した paroxysmal sympathetic hyperactivity の1例. 第42回日本集中治療医学会学術集会 (一般演題ポスター38 心肺停止 症例①). 2015, 2, 9-11.
- 3 今長谷尚史, 阪本雄一郎, 岩村高志, 太田美穂, 後藤明子, 鳴海翔悟, 八幡真由子, 三池 徹, 小網博之, 井上 聡: 初期研修医の視点によって, 救命救急センターの診療の質を改善することができる. 第42回日本集中治療医学会学術集会 (ラウンドテーブル2 集中治療における倫理を語る). 2015, 2, 9-11.
- 4 阪本雄一郎: 敗血症性 DIC に効果が期待できる治療法と今後の可能性. 第42回日本集中治療医学会学術集会 (教育セミナー22 (LS22)). 2015, 2, 9-11.
- 5 小網博之, 阪本雄一郎: 急性期 DIC 基準の中で, 外傷性 DIC に最も関与している因子は何か? ~ thromboelastmetry を用いた後ろ向き検討~. 第9回日本血栓止血学会学術標準化委員会 (DIC 部会「新 DIC 診断基準と実際の臨床」). 2015, 2, 28.
- 6 小網博之, 阪本雄一郎, 井上 聡, 伊佐 勉: 門脈ガス血症を伴う腸管壊死症例を予測する診断基準の作成ならびに有効性の検証~民間総合病院外科医と大学病院救急医のコラボレーション. 第51回日本腹部救急医学会 (診療と研究のトピックス・ビューポイント). 2015, 3, 5-6.
- 7 阪本雄一郎: 敗血症 DIC における凝固療法の可能性. 第51回日本腹部救急医学会総会 (シンポジウム1). 2015, 3, 5-6.
- 8 阪本雄一郎: 私の考える敗血症 DIC 治療の実際. 第89回日本感染症学会学術講演会 (イブニングセミナー1). 2015, 4, 16-17.
- 9 阪本雄一郎: 座長. 第30回日本 Shock 学会 (一般演題). 2015, 5, 22-23.

- 10 小網博之, 阪本雄一郎: 抹消循環不全に伴う凝固傷害の診断に対する血清乳酸値の有用性について. 第30回日本 Shock 学会 (パネルディスカッション). 2015, 5, 22-23.
- 11 太田美穂, 阪本雄一郎: CHDF 膜がプレセプシン値に与える影響. 第30回日本 Shock 学会 (会長賞選考演題 1). 2015, 5, 22-23.
- 12 小網博之, 阪本雄一郎: Thromboelastmetry (ROTEM) を用いたアナフィラキシーショックにおける線溶亢進の機能解析. 第30回日本 Shock 学会 (会長賞選考演題 3). 2015, 5, 22-23.
- 13 山田クリス孝介, 井澤修平, 菅谷 渚, 木村健太, 小川奈美子, 城月健太郎, 長野祐一郎: 急性ストレスに対する認知的評価が心臓血管およびコルチゾール反応に与える影響. 第33回日本生理心理学会大会. 2015, 5, 23-24.
- 14 *井澤修平, 菅谷 渚, 木村健太, 小川奈美子, 山田クリス孝介, 城月健太郎, 長野祐一郎: 主観的幸福感と急性ストレス場面におけるコルチゾール反応. 第33回日本生理心理学会大会. 2015, 5, 23-24.
- 15 山田クリス孝介, 藤満幸子, 原田由美子, 渡辺健太郎, 須永剛司, 小早川真衣子, 阪本雄一郎, 本村陽一, 西村拓一: モノ・コトづくり支援のための現場参加型研究: 佐賀大学医学部附属病院における事例. 2015年度人工知能学会全国大会. 2015, 5, 30-6, 2. Proceedings of the 29th Annual Conference of the Japanese Society for Artificial Intelligence, 2015, 1K4-NFC-05a-4.
- 16 阪本雄一郎: 座長. 第29回日本外傷学会総会・学術集会 (一般演題 7 胸部外傷 1). 2015, 6, 11-12.
- 17 *藤田 亮, 阪本雄一郎, 井上 聡, 岩村高志, 小網博之, 永嶋 太, 三池 徹, 今長谷尚史, 鳴海翔悟, 後藤明子: 生前に確定診断に至らなかった細菌性髄膜炎を合併した頸椎周囲膿瘍の一例. 第18回日本臨床救急医学会総会・学術集会 (揭示演題39)「感染症 (1)」。2015, 6, 4-6.
- 18 *濱本亜希, 日比野英利, 中島正一, 瀧 健治, 島 弘志, 爲廣一仁, 阪本雄一郎: 救急医療の中での高気圧酸素治療. 第12回日本臨床高気圧酸素・潜水医学会 (一般演題 1-5). 2015, 7, 11.
- 19 今長谷尚史: 抗補体治療の臨床応用へ向けた取り組み敗血症治療における抗補体治療が果たす役割は. 第52回日本補体学会学術集会 (ミニシンポジウム 1). 2015, 8, 21-22.
- 20 山田クリス孝介, 井澤修平, 中村菜々子: ストレスの過小評価の信念と疾病既往歴および睡眠との関連. 日本心理学会第79回大会. 2015, 9, 22-24.
- 21 今長谷尚史, 阪本雄一郎, 八幡真由子, 小網博之: 救急集中治療における安全管理について～インシデントからシステム改善へ～. 第30回日本救命医療学会総会・学術集会 (一般演題④心肺停止・安全管理). 2015, 9, 11-12.
- 22 ○松田和也, 小網博之, 櫻井良太, 太田美穂, 後藤明子, 今長谷尚史, 八幡真由子, 梅香 満, 三池 徹, 山田クリス孝介, 藤田 亮, 永嶋 太, 岩村高志, 井上 聡, 阪本雄一郎: Thromboelastometry を用いて大量輸血, トラネキサム酸を投与した重症頭部外傷に伴う凝固線溶異常の一例. 第30回日本救命医療学会総会・学術集会 (ポスター②敗血症・DIC・ショック). 2015, 9, 11-12.
- 23 阪本雄一郎: 司会. 第7回日本 Acute Care Surgery 学会学術集会 (ワークショップ2 ACSにおける栄養管理). 2015, 10, 3-4.
- 24 *大友康裕, 溝端康光, 渡部広明, 河野元嗣, 臼井彰浩, 阪本雄一郎: わが国における Acute Care Surgery の概念. 第7回日本 Acute Care Surgery 学会学術集会 (シンポジウム 2-1). 2015, 10, 3-4.

- 25 *渡部広明, 阪本雄一郎, 臼井彰浩, 河野元嗣, 溝端康光, 大友康裕: Acute Care Surgery カリキュラムにおける治療戦略決定とチームワーク構築トレーニング. 第7回日本 Acute Care Surgery 学会学術集会 (シンポジウム2-3). 2015, 10, 3-4.
- 26 *河野元嗣, 臼井彰浩, 阪本雄一郎, 溝端康光, 渡部広明, 大友康裕: Acute Care Surgery の surgical skill requiremnt. 第7回日本 Acute Care Surgery 学会学術集会 (シンポジウム2-4). 2015, 10, 3-4.
- 27 小網博之, 阪本雄一郎, 永嶋 太, 岩村高志, 井上 聡: 抹消循環不全に伴う外傷患者の凝固傷害を診断するのに血清乳酸値が有用か?. 第7回日本 Acute Care Surgery 学会学術集会 (一般演題 P&PC P13「凝固」). 2015, 10, 3-4.
- 28 阪本雄一郎: 座長. 第26回日本急性血液浄化学会 (パネルディスカッション2). 2015, 10, 9-10.
- 29 今長谷尚史, 阪本雄一郎, 八幡真由子, 小網博之, 井上 聡: 敗血症治療における抗凝固薬の効果 (動物実験モデルと in vitro での検討). 第26回日本急性血液浄化学会 (パネルディスカッション2-1). 2015, 10, 9-10.
- 30 *竹内正志, 中島正一, 伊福武志, 東治道, 阪本雄一郎: リコモジュリンにおける回路凝固延長効果. 第26回日本急性血液浄化学会 (パネルディスカッション2-2). 2015, 10, 9-10.
- 31 *木下 隆, 竹内正志, 古賀大貴, 中島正一, 東治道, 阪本雄一郎: TAT による CBP 回路の血液凝固予測. 第26回日本急性血液浄化学会 (Best Presentation Award-7). 2015, 10, 9-10.
- 32 阪本雄一郎: 座長. 第17回日本救急看護学会学術集会 (シンポジウムII). 2015, 10, 16-17.
- 33 岩村高志: 座長. 第17回日本救急看護学会学術集会 (シンポジウムI). 2015, 10, 16-17.
- 34 永嶋 太, 阪本雄一郎, 井上 聡, 岩村高志, 小網博之, 三池 徹, 梅香 満, 八幡真由子, 今長谷尚史, 太田美穂, 櫻井良太: これからの救命救急センターのあり方. 第43回日本救急医学会 (パネルディスカッション2). 2015, 10, 21-23.
- 35 阪本雄一郎: 2020年に向けた敗血症治療戦略-抗凝固療法の実臨床および基礎研究の知見をふまえて-. 第43回日本救急医学会 (ランチョンセミナー2). 2015, 10, 21-23.
- 36 阪本雄一郎: 座長. 第43回日本救急医学会 (口演82). 2015, 10, 21-23.
- 37 小網博之, 阪本雄一郎, 櫻井良太, 太田美穂, 今長谷尚史, 八幡真由子, 梅香 満, 三池 徹, 永嶋 太, 岩村高志, 井上 聡: 急性期 DIC 基準の中で, 敗血症性 DIC に最も関与している因子は何か?. 第43回日本救急医学会 (口演5 感染症・敗血症1). 2015, 10, 21-23.
- 38 今長谷尚史, 阪本雄一郎, 岩村高志, 小網博之, 山田クリス孝介, 太田美穂, 櫻井良太, 三池 徹, 梅香 満, 永嶋 太, 井上 聡: 敗血症の早期診断の重要性を ICU から発信する~救急 ICU における敗血症死亡患者の検討から~. 第43回日本救急医学会 (主題関連セッション10 シンポジウム1 集中治療は予後を改善するか). 2015, 10, 21-23.
- 39 櫻井良太, 今長谷尚史, 太田美穂, 八幡真由子, 梅香 満, 三池 徹, 小網博之, 永嶋 太, 岩村高志, 井上 聡, 阪本雄一郎: リツキシマブが奏効した重症血小板減少性紫斑病の一例. 第43回日本救急医学会 (口演25 血液凝固2). 2015, 10, 21-23.
- 40 ○松田知也, 梅香 満, 今長谷尚史, 八幡真由子, 三池 徹, 小網博之, 藤田亮, 永嶋 太, 岩村高志, 井上 聡, 阪本雄一郎: 治療に難渋した腐食性胃食道炎の1例. 第43回日本救急医学会 (学生・研修医セッション6 腹部疾患). 2015, 10, 21-23.
- 41 *齋藤大蔵, 丸藤 哲, 佐々木淳一, 池田弘人, 上山昌史, 田熊清継, 荒木恒敏, 小倉裕司, 藤島清

- 太郎, 阿部智一, 白石 淳, 久志本成樹, 真弓俊彦, 射場敏明, 岡本好司, 小谷穰治, 阪本雄一郎, 椎野泰和, 白石振一郎, 武山直志, 樽井武彦, 鶴田良介, 中田孝明, 水島靖明, 一二三亨, 藤見 聡, 増野智彦, 三木靖雄, 山下典雄: 広範囲熱傷の初期輸液に関する多施設共同前向き無作為化比較対照試験の計画. 第43回日本救急医学会 (シンポジウム5 学会主導多施設共同研究について考える). 2015, 10, 21-23.
- 42 *藤島清太郎, 丸藤 哲, 齋藤大蔵, 小倉裕司, 久志本成樹, 真弓俊彦, 阿部智一, 白石 淳, 荒木恒敏, 池田弘人, 射場敏明, 岡本好司, 上山昌史, 小谷穰治, 阪本雄一郎, 佐々木淳一, 椎野泰和, 白石振一郎, 田熊清継, 武山直志, 樽井武彦, 鶴田良介, 中田孝明, 一二三亨, 藤見 聡, 増野智彦, 三木靖雄, 水島靖明, 山下典雄: ALI/ARDS に対する多施設共同前向き観察研究. 第43回日本救急医学会 (シンポジウム5 学会主導多施設共同研究について考える). 2015, 10, 21-23.
- 43 *阿部智一, 小倉裕司, 齋藤大蔵, 久志本成樹, 白石 淳, 藤島清太郎, 荒木恒敏, 池田弘人, 射場敏明, 上山昌史, 岡本好司, 小谷穰治, 阪本雄一郎, 佐々木淳一, 椎野泰和, 白石振一郎, 田熊清継, 武山直志, 樽井武彦, 鶴田良介, 中田孝明, 一二三亨, 藤見 聡, 増野智彦, 真弓俊彦, 三木靖雄, 水島靖明, 山下典雄, 丸藤 哲: Sepsis registry: 敗血症診療の国際標準化の現状と展望. 第43回日本救急医学会 (シンポジウム5 学会主導多施設共同研究について考える). 2015, 10, 21-23.
- 44 *小倉裕司, 丸藤 哲, 阿部智一, 荒木恒敏, 池田弘人, 射場敏明, 上山昌史, 岡本好司, 久志本成樹, 小谷穰治, 齋藤大蔵, 阪本雄一郎, 佐々木淳一, 椎野泰和, 白石 淳, 白石振一郎, 田熊清継, 武山直志, 樽井武彦, 鶴田良介, 中田孝明, 一二三亨, 藤島清太郎, 藤見 聡, 増野智彦, 真弓俊彦, 三木靖雄, 水島靖明, 山下典雄: 日本救急医学会: 学会主導多施設研究の発展とその経緯. 第43回日本救急医学会 (シンポジウム5 学会主導多施設共同研究について考える). 2015, 10, 21-23.
- 45 梅香 満, 小網博之, 後藤明子, 今長谷尚史, 八幡真由子, 三池 徹, 藤田 亮, 永嶋 太, 岩村高志, 井上 聡, 阪本雄一郎: 腹痛を契機に発見された上腸間膜静脈 (SMV) ガス血症の1例. 第43回日本救急医学会. 2015, 10, 21-23.
- 46 *中島厚士, 吉武邦将, 阪本雄一郎: 二度にわたる市販薬の大量服用にて異なる形のタコツボ型心筋症を発症した一例. 第43回日本救急医学会 (口演51 中毒7). 2015, 10, 21-23.
- 47 山田クリス孝介, 阪本雄一郎: 佐賀県における交通事故に関する調査と研究会の設立. 第43回日本救急医学会. 2015, 10, 21-23.
- 48 太田美穂, 櫻井良太, 今長谷尚史, 八幡真由子, 梅香 満, 三池 徹, 小網博之, 永嶋 太, 岩村高志, 井上 聡, 阪本雄一郎: 中枢神経感染症におけるプレセプシンの有用性. 第43回日本救急医学会 (口演79 感染症・敗血症10). 2015, 10, 21-23.
- 49 今長谷尚史, 岩村高志, 阪本雄一郎, 櫻井良太, 太田美穂, 後藤明子, 八幡真由子, 三池 徹, 小網博之, 永嶋 太, 井上 聡: 精神科病院入院中に救命救急センターに紹介・救急搬送された患者から考察する精神科病院と救急の連携. 第43回日本救急医学会 (主題関連セッション25 パネルディスカッション5 精神疾患合併症例への対応). 2015, 10, 21-23.
- 50 三池 徹, 阪本雄一郎, 櫻井良太, 太田美穂, 後藤明子, 今長谷尚史, 八幡真由子, 小網博之, 永嶋 太, 岩村高志, 井上 聡: 高気圧酸素環境が健常血液の血栓形成能に及ぼす影響. 第43回日本救急医学会 (口演106 環境異常2). 2015, 10, 21-23.

- 51 ○中山賢人, 小網博之, 櫻井良太, 今長谷尚史, 八幡真由子, 梅香 満, 三池 徹, 永嶋 太, 岩村高志, 井上 聡, 阪本雄一郎: 超急性期より血液透析と持続血液濾過透析を施行することで, 明らかな副作用なく救命できた急性リチウム中毒の1例. 第43回日本救急医学会(学生・研修医セッション17 薬物中毒1). 2015, 10, 21-23.
- 52 阪本雄一郎: 座長. 第22回航空医療学会 (一般演題7: 疾患: 外因). 2015, 11, 6-7.
- 53 岩村高志, 櫻井良太, 太田美穂, 後藤明子, 今長谷尚史, 八幡真由子, 梅香 満, 三池 徹, 小網博之, 藤田 亮, 永嶋 太, 井上 聡, 阪本雄一郎: ドクターヘリによる隣県対応の現状と考察. 第22回航空医療学会 (一般演題3: 連携1). 2015, 11, 6-7.
- 54 *小野原貴之, 阪本雄一郎: 佐賀県内離島における佐賀ドクターヘリ利用の現状. 第22回航空医療学会 (一般演題16: 現場活動: 医療). 2015, 11, 6-7.
- 55 永嶋 太, 井上 聡, 岩村高志, 阪本雄一郎: 日本における Acute Care Surgery の現状と将来. 第77回日本臨床外科学会 (ワークショップ 21 Acute Care Surgery の現状と将来). 2015, 11, 26-27.

地方規模の学会

- 1 山田クリス孝介, 岩村高志, 永嶋 太, 藤田 亮, 小網博之, 三池 徹, 八幡真由子, 今長谷尚史, 太田美穂, 井上 聡, 阪本雄一郎: 佐賀県における循環器系疾患による救急搬送の状況. 第19回日本救急医学会九州地方会. 2015, 5, 15-16.
- 2 小網博之, 阪本雄一郎, 太田美穂, 後藤明子, 鳴海翔悟, 今長谷尚史, 八幡真由子, 三池 徹, 藤田 亮, 永嶋 太, 岩村高志, 井上 聡: Thromboelastometry (ROTEM®) を用いて急性期の輸血管理を行った内胸静脈損傷の一例. 第19回日本救急医学会九州地方会(一般演題 口演 外傷①). 2015, 5, 15-16.
- 3 今長谷尚史, 阪本雄一郎, 岩村高志, 太田美穂, 後藤明子, 八幡真由子, 小網博之, 三池 徹, 藤田 亮, 永嶋 太, 山田クリス孝介, 井上 聡: 集中治療室からプレホスピタルケアを考える～佐賀大学医学部附属病院 EICU 立ち上げにおける課題からみえたもの～. 第19回日本救急医学会九州地方会 (一般演題 口演 体制). 2015, 5, 15-16.
- 4 *小野原貴之, 阪本雄一郎, 井上 聡, 岩村高志, 永嶋 太, 藤田 亮, 小網博之, 三池 徹, 八幡真由子, 今長谷尚史, 平原健司, 佐藤友子, 小山 敬, 松本 康, 吉富有哉: 佐賀県内離島におけるドクターヘリ利用の現状. 第19回日本救急医学会九州地方会 (一般演題 ポスター 災害・プレホスピタル). 2015, 5, 15-16.
- 5 阪本雄一郎: 座長. 第25回日本集中治療医学会九州地方会 (一般演題 感染2・DIC). 2015, 6, 19-20.
- 6 今長谷尚史, 阪本雄一郎, 永嶋 太, 岩村高志, 小網博之, 三池 徹, 後藤美穂, 櫻井良太, 八幡真由子, 梅香 満, 山田クリス孝介, 井上 聡: 佐賀大学医学部附属病院におけるハリーコール対応. 第38回佐賀救急医学会 (シンポジウム). 2015, 9, 5.
- 7 岩村高志: 座長. 第38回佐賀救急医学会 (一般演題 後半). 2015, 9, 5.

その他の学会

- 1 阪本雄一郎: 座長. 第2回 Seminar of Apheresis for Septic Shock (一般演題, 特別講演). 2015, 1, 14.
- 2 阪本雄一郎: 2020年に向けた敗血症治療戦略における抗凝固療法の展望—トロンボモジュリン製剤

- の可能性について－. 大手町地区トロンボモジュリン講演会 (特別講演). 2015, 1, 16.
- 3 阪本雄一郎: 外傷診療における凝固障害. 第79回北九州 CPR セミナー (特別講演). 2015, 1, 22.
 - 4 阪本雄一郎: 2020年に向けた敗血症治療戦略における抗凝固療法の展望－実臨床および基礎研究の知見をふまえて－. 第4回新潟 DIC 講演会 (特別講演). 2015, 1, 23.
 - 5 阪本雄一郎: CPA (心肺停止) 患者の低体温療法における管理のポイント. 日総研セミナー (講演). 2015, 1, 25. 2015, 2, 8. 2015, 2, 14.
 - 6 阪本雄一郎: 座長. 第4回救急・集中治療の明日を考える会 (特別講演). 2015, 1, 29.
 - 7 阪本雄一郎: アンチトロンビン製剤－敗血症治療の歴史と今後の可能性－. 第4回救急・集中治療の明日を考える会 (教育講演). 2015, 1, 29.
 - 8 阪本雄一郎: 2020年に向けた敗血症治療戦略における抗凝固療法の展望－トロンボモジュリン製剤の可能性について－. 八幡地区トロンボモジュリン講演会. 2015, 1, 30.
 - 9 阪本雄一郎: アンチトロンビン製剤を中心として血液製剤の歴史と今後の展望. 第20回大阪 DIC 研究会 (特別講演). 2015, 2, 4.
 - 10 阪本雄一郎: 座長. 九州リコモジュリン講演会 (一般演題). 2015, 2, 13.
 - 11 阪本雄一郎: 救急医療と Ai. 第1回九州 Ai 画像研究会 (第4部 特別講演). 2015, 2, 21.
 - 12 阪本雄一郎: 講師. 佐賀広域消防局救急研修会. 2015, 3, 9. 2015, 3, 12.
 - 13 小網博之, 阪本雄一郎: Thromboelastometry (ROTEM) における線溶亢進の診断と血餅退縮 (clot retraction) について. 第15回 TTM フォーラム. 2015, 3, 7.
 - 14 阪本雄一郎: 2020年に向けた敗血症治療戦略における抗凝固療法の展望－実臨床および基礎研究の知見をふまえて－. 急性期医療フォーラム (特別講演). 2015, 3, 13.
 - 15 阪本雄一郎: 2020年に向けた敗血症治療戦略における抗凝固療法の展望－トロンボモジュリン製剤の可能性について－. 第23回城東・救急集中治療研究会 “達人に学ぶ” (特別講演). 2015, 3, 16.
 - 16 阪本雄一郎: 座長. 第4回佐賀救急フォーラム (パネルディスカッション). 2015, 4, 15.
 - 17 阪本雄一郎: 2020年に向けた敗血症治療戦略と佐賀県での取組について. 第4回佐賀救急フォーラム (演題). 2015, 4, 15.
 - 18 山田クリス孝介: 敗血症治療における統計的手法による考察について. 第4回佐賀救急フォーラム. 2015, 4, 15.
 - 19 今長谷尚史: 敗血症治療全般について. 第4回佐賀救急フォーラム (演題). 2015, 4, 15.
 - 20 阪本雄一郎: 座長. 第1回 ER メディチーナコンフェレンツァ (特別講演). 2015, 4, 22.
 - 21 小網博之, 阪本雄一郎: ラット熱傷モデルにおけるハプトグロビンの凝固炎症反応連関に対する効果. 第1回 ER メディチーナコンフェレンツァ (教育講演). 2015, 4, 22.
 - 22 阪本雄一郎: 敗血症性 DIC の診断と血小板. Meeting –DIC と血小板－敗血症 DIC を中心に－. 2015, 5, 7.
 - 23 阪本雄一郎: 座長. 敗血症治療の医師力アップセミナー (特別講演). 2015, 5, 20.
 - 24 八幡真由子: 敗血症とは DIC のいろは. 敗血症治療の医師力アップセミナー (教育講演). 2015, 5, 20.
 - 25 阪本雄一郎: 2020年に向けた敗血症治療戦略における抗凝固療法の展望－実臨床および基礎研究の知見をふまえて－. 第3回佐世保敗血症治療講演会 (特別講演). 2015, 6, 26.

- 26 阪本雄一郎：2020年に向けた敗血症治療戦略における抗凝固治療の展望－トロンボモジュリン製剤の可能性について－. 久留米敗血症セミナー（特別講演）. 2015, 7, 8.
- 27 阪本雄一郎：座長. DIC セミナー in Kurume（特別講演Ⅰ）. 2015, 7, 23.
- 28 小網博之：Thromboelastometry (ROTEM R) を用いた DIC の病態解析. DIC セミナー in Kurume（特別講演Ⅰ）. 2015, 7, 23.
- 29 阪本雄一郎：2020年に向けた敗血症治療戦略における抗凝固療法の展望－実臨床および基礎研究の知見をふまえて－. 第7回リコモジュリンフォーカスミーティング（特別講演）. 2015, 7, 24.
- 30 阪本雄一郎：敗血症の治療において抗凝固療法は必要なのか？～実臨床及び基礎研究の知見をふまえて～. 延岡医学会・学術講演会（特別講演）. 2015, 8, 7.
- 31 阪本雄一郎：2020年に向けた敗血症の治療戦略－抗凝固療法を含めて－. 中西讃 ICT・敗血症セミナー（特別講演）. 2015, 9, 10.
- 32 阪本雄一郎：2020年に向けた敗血症治療戦略における抗凝固療法の展望－トロンボモジュリン製剤の可能について－. 大分県消化器疾患トロンボモジュリン講演会（特別講演Ⅱ）. 2015, 9, 17.
- 33 阪本雄一郎：日本から世界へ羽ばたく DIC 治療戦略と新たな View. 第2回昭和大学藤が丘病院敗血症セミナー（特別講演）. 2015, 9, 18.
- 34 阪本雄一郎：外傷初期診療の診断と治療. 日本救急看護学会主催 救急看護セミナー（講師）. 2015, 9, 19.
- 35 阪本雄一郎：周術期管理におけるトレミキシンの治療戦略. 京都外科感染症フォーラム（特別講演）. 2015, 9, 25.
- 36 阪本雄一郎：非常勤講師. 学校法人純真学園. 2015, 9, 25.
- 37 阪本雄一郎：講師. 第35回教養試験医学系 OSCE 評価者認定講習会（ステーション別講習）. 2015, 9, 27.
- 38 阪本雄一郎：2020年に向けた敗血症治療戦略における抗凝固療法の展望－実臨床および基礎研究の知見をふまえて－. 東北信 DIC フォーラム（特別講演）. 2015, 10, 2.
- 39 阪本雄一郎：2020年に向けた敗血症治療戦略における抗凝固療法の展望－実臨床および基礎研究の知見をふまえて－. 急性期消化器疾患セミナー（レクチャーⅡ）. 2015, 10, 15.
- 40 阪本雄一郎：外傷初期診療～JATEC から JETEC へ. JNTEC ブラッシュアップセミナー（講師）. 2015, 10, 15.
- 41 阪本雄一郎：講師. 第37回教養試験医学系 OSCE 評価者認定講習会（個別ステーション講習）. 2015, 10, 25.
- 42 阪本雄一郎：座長. 第5回日本臨床外科学会 佐賀県支部学術集会（特別講演）. 2015, 10, 28.
- 43 永嶋 太：座長. 第5回日本臨床外科学会 佐賀県支部学術集会（一般講演）. 2015, 10, 28.
- 44 太田美穂：重症頭部外傷と重症胸部外傷を認め、頭部及び胸部同時手術を施行した症例. 第5回日本臨床外科学会 佐賀県支部学術集会（一般講演）. 2015, 10, 28.
- 45 櫻井良太：当院における重症骨盤骨折の治療戦略. 第5回日本臨床外科学会 佐賀県支部学術集会（一般講演）. 2015, 10, 28.
- 46 阪本雄一郎：2020年に向けた敗血症治療戦略における抗凝固療法の展望－実臨床および基礎研究の知見を踏まえて－. 第10回 MD・MT・CP の感染症研究会（特別講演）. 2015, 10, 30.
- 47 岩村高志：講師. 第一種免許に係る応急救護処置指導員養成講習. 2015, 11, 9-11.

- 48 櫻井良太：講師. 第一種免許に係る応急救護処置指導員養成講習. 2015, 11, 9-11.
- 49 永嶋 太：講師. 第一種免許に係る応急救護処置指導員養成講習. 2015, 11, 9-11.
- 50 太田美穂：講師. 第一種免許に係る応急救護処置指導員養成講習. 2015, 11, 9-11.
- 51 阪本雄一郎：講師. 第一種免許に係る応急救護処置指導員養成講習. 2015, 11, 9-11.
- 52 阪本雄一郎：アンチトロンビン製剤の過去から未来へ. 第3回敗血症セミナー in 千葉（特別講演）. 2015, 11, 12.
- 53 阪本雄一郎：2020年に向けた敗血症治療戦略における抗凝固療法の展望－実臨床および基礎研究の知見をふまえて－. さいたま敗血症治療セミナー（特別講演）. 2015, 12, 4.
- 54 阪本雄一郎：2020年に向けた敗血症治療戦略－抗凝固療法の意義を中心に－. リコモジュリン Web 講演会 DIC 治療の最前線！. 2015, 12, 7.
- 55 小網博之：インストラクター. JPTEC 佐賀インストラクターコース. 2015, 12, 12-13.
- 56 阪本雄一郎：委員. 交通事故傷害予測と自動通報に関する検討委員会. 2015, 1, 23.
- 57 阪本雄一郎：審査員. 大学院医学系研究科修士課程医科学 専攻優秀論文賞. 2015, 2, 17.
- 58 阪本雄一郎：エンドトキシン吸着療法（CHDF）の実践. 日本急性血液浄化学会 JSBPCC ハンズオンセミナー（セミナー講義③）. 2015, 3, 28.
- 59 阪本雄一郎：事後評価解析小委員会課題改訂専門部会委員. 公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構医学系 OSCE. 2015, 4, 1.
- 60 阪本雄一郎：委員. 日本救急医学会 多施設共同試験特別委員会. 2015, 4, 4.
- 61 阪本雄一郎, 山田クリス孝介：救急医療における ICT 利用. 2015年春季大会フォーラム（28. 交通事故損害予測と予防・医療）. 2015, 5, 20.
- 62 阪本雄一郎：委員. 日本 Shock 学会評議委員会. 2015, 5, 22.
- 63 阪本雄一郎：評議員. 日本臨床救急医学会. 2015, 6, 4.
- 64 阪本雄一郎：委員. 日本外傷学会トラウマレジストリー検討委員会. 2015, 6, 12.
- 65 阪本雄一郎：評議員. 平成27年度九州高気圧環境医学会. 2015, 6, 12.
- 66 阪本雄一郎：編集委員. 日本腹部救急医学会編集委員会. 2015, 6, 27.
- 67 阪本雄一郎：試験問題検討小委員. 一般社団法人日本外科学会. 2015, 7, 7.
- 68 阪本雄一郎：評価委員. 佐賀県トラフグ肝の可食化に関する第三者評価委員会. 2015, 8, 10.
- 69 阪本雄一郎：委員. 佐賀県自殺対策協議会. 2015, 9, 1.
- 70 阪本雄一郎：小委員（副責任者）. 日本外科学会試験問題検討委員会. 2015, 9, 9.
- 71 阪本雄一郎：評議員. 特定非営利活動法人日本急性血液浄化学会平成27年度評議委員会. 2015, 10, 8.
- 72 阪本雄一郎：編集委員. 特定非営利活動法人日本急性血液浄化学会編集委員会. 2015, 10, 9.
- 73 阪本雄一郎：委員. 特定非営利活動法人日本急性血液浄化学会学術委員会. 2015, 10, 10.
- 74 阪本雄一郎：評議員. 一般社団法人日本救急医学会. 2015, 10, 20.
- 75 阪本雄一郎：委員. 国際医療福祉大学医学部設置準備委員会. 2015, 10, 31.
- 76 阪本雄一郎：委員. 平成27度佐賀県道路交通環境安全推進連絡会議幹事会. 2015, 12, 18.
- 77 阪本雄一郎：評議員. 日本病院前救急診療医学会. 2015, 12, 26.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額 (千円)
助教	小網 博之	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	自己細胞由来人工皮膚グラフトを用いた重症熱傷治療法の開発	1,170
助教	山田クリス孝介	科学研究費助成事業	基盤研究(B)	地域救急医療の質の向上に質する科学的証拠の構築に関する研究	7,280
教授	阪本雄一郎	科学研究費助成事業	基盤研究(B) (分担)	地域救急医療の質の向上に質する科学的証拠の構築に関する研究	850
教授	阪本雄一郎	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	大規模医療情報基盤を利用した敗血症の治療に関する医療経済学的分析と評価	1,690
助教	山田クリス孝介	パブリックヘルス科学研究助成金		ストレスケア実施に対する認知変容効果の検討	1,000
教授	阪本雄一郎	独立行政法人国民生活センター	医療機関ネットワーク事業		754 (12月現在)
教授	阪本雄一郎	佐賀県在宅医療支援体制の地域モデル構築事業費補助金	新たな財政支援制度に係る事業	在宅医療支援体制の地域モデル構築事業	49,413

学術(学会)賞

職名	氏名	学術(学会)賞名	受賞課題
教授	阪本雄一郎	第1回ウッドデザイン賞(2015)	イメージ心理量を測るツール
助教	小網 博之	第51回腹部救急医学会, 理事長賞	門脈ガス血症を伴う腸管壊死症例を予測する診断基準の作成ならびに有効性の検証～民間総合病院外科医と大学病院救急医のコラボレーション
助教	Hiroyuki Koami	Singapore Trauma Conference 2015, Best Poster Award	What factor within JAAM DIC criteria is most strongly correlated with trauma induced DIC on the subject of ROTEM findings?